

平成 26 年度『大山ファーム』事業報告書

1. 利用者状況

月	在籍者 (名)		1日の平均 出勤者数 (名)		稼働率 (%)		契約者		終了者		契約終了理由
	移行	B型	移行	B型	移行	B型	移行	B型	移行	B型	
4	3	25	2.6	21.0	43.3	95.4	1	2	0	1	B型→A型
5	3	26	1.8	21.2	30.0	96.4	0	2	0	0	
6	3	26	1.2	21.7	20.0	98.7	0	0	1	0	支援機関変更
7	2	27	1.0	22.7	16.6	103.9	0	1	0	0	
8	2	27	1.6	21.6	26.6	98.1	0	0	1	0	支援機関変更
9	1	27	1.0	22.2	16.6	101.2	0	0	0	0	
10	1	27	1.0	21.7	16.6	98.8	0	1	0	1	体調不良
11	1	27	1.0	21.0	16.6	95.4	0	0	0	0	
12	1	27	1.0	20.8	16.6	94.8	0	0	1	0	一般就労
1	0	28	0	21.6	0	98.4	0	1	0	0	
2	0	28	0	23.2	0	105.4	0	0	0	0	
3	0	28	0	23.0	0	104.5	0	0	0	0	
平均	1.4	26.9					1	7	3	2	

【利用定員】

- 就労移行支援 (6名)・就労継続B型支援 (22名)

【新規利用者内訳】

- 地域からの利用…5名 (就労継続支援B型 5名)
- 就労継続支援B型から就労移行支援へ再契約…1名
- 就労移行支援期間満了のため、就労継続支援B型へ再契約…2名

新規利用者については男性利用者の割合 (男性 6名・女性 1名) が高かった。また、地域特性として公共交通機関が限られているので送迎サービスを実施していることが新規利用者の獲得は重要であった。

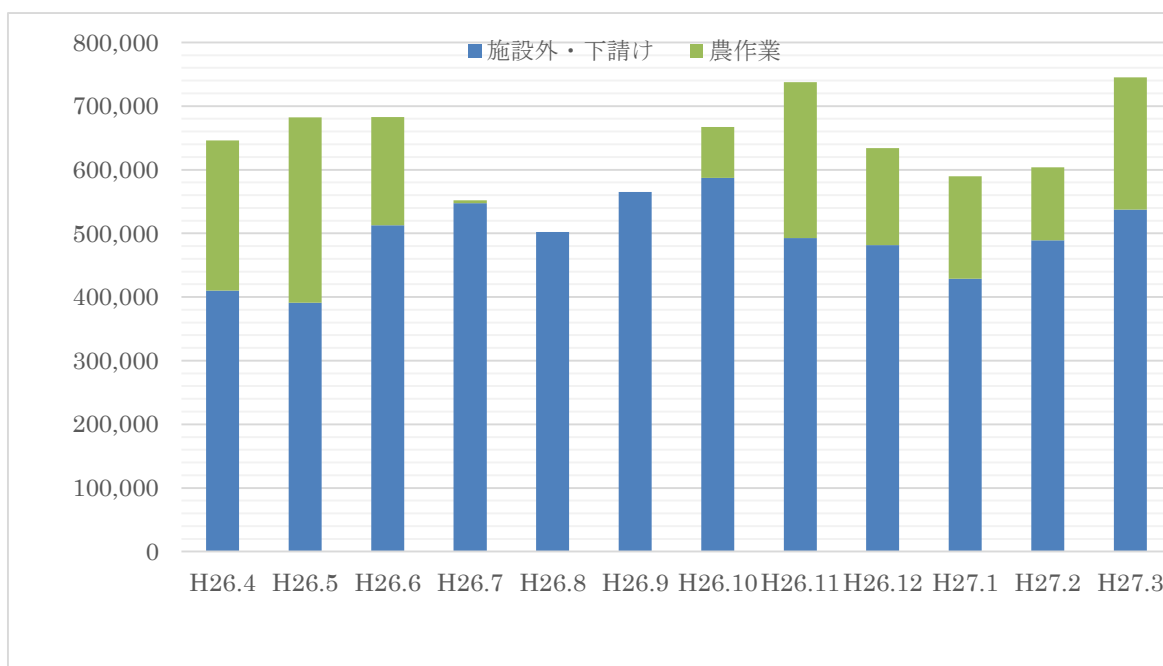
【退所者内訳】

- 一般企業・A型事業所への雇用…1名 (就労移行支援 1名・就労継続支援B型 1名)
- 支援機関変更…2名 (就労移行支援 2名)
- 体調不良による退所 (就労継続支援B型 1名)

退所者については、実習を通して雇用主の障害者理解を深めてもらうことを重点的に行った。また、利用者には働くためのマナーや各作業に必要なスキルを習得できるように個別支援プログラムを実施した。

2. 支援の状況

・作業収入割合



1) 平成 26 年度総収入 7,086,968 円 (平成 25 年度総収入 6,646,209 円)

・支払工賃

1) 工賃総額 3,877,566 円

(平成 25 年度工賃総額) 3,908,378 円

2) 月一人あたりの平均工賃

就労継続支援B型 12,137 円 就労移行支援 15,650 円

(平成 25 年度平均工賃)

就労継続支援B型 11,761 円 就労移行支援 15,823 円

・施設外作業

実習先事業所	作業内容	備考
(福)おおぞら療育センター	衣類整理業務	
(福)四季の郷	清掃・衣類整理業務	
(医)西山病院	庭園管理業務	
(株)TG	自動車部品の組み付け	H26.12 終了

就職に向けての第一ステップとして施設外作業を位置づけ活動を行った。就職に必要とされる挨拶やマナー(報告、連絡、相談)を企業や他事業所で経験、実践することで利用者個々の作業に対する意識の変化が見られた。

・下請け作業

委託先	作業内容	備 考
(株)TG	自動車部品の組み付け	
(有)グリーンライフ	ネギの選別・梱包	
(N)障がい者支援協会	除草作業	不定期
(株)ダイセン	物品仕分け・梱包	
大五運送株式会社	梱包・箱組	
宮木農園	野菜の収穫・除草等	
やまとラクノープ	枝豆の選別・梱包	
南庄内幼稚園	除草作業	3,165 m ² ×2回
法林寺	除草・清掃作業	月に1回

利用者の（作業に関する）多様なニーズに対して新たな委託先・作業を開拓したり、作業手順（費用対効果等）を見直したりして既存の委託作業の整理を行った。

障害者優先調達法の施行により、公的機関の除草業務を請け負うことができるようになり、夏場ハウスの作業が少ない時（農閑期）に効率的・計画的に作業を進めることができた。

・農作業

販売・委託販売	販売内容・取引先	備 考
小売販売	地域交流まつり等各行事	ミニトマト狩り
委託販売	JAとびあファーマーズマーケット	三方原店・浜北店
	たちばなファーム	プレ葉ウォーク浜北
	ヴィラ東山苑	高齢者施設

栽培作物（ミニトマト・ふき等）

昨年度の収益と比較すると（H25-1,466,712・H26-1,671,392）約 15%の増収となった。JAとびあファーマーズマーケットへの出荷時期・量は昨年度とほとんど変わらないが他の生産者よりも高値で取引をすることができた。消費者は生産者を選んで購入している傾向があり、『大山ファームのミニトマト』というブランドを認知してもらいリピーターや顧客を獲得することができた。

ミニトマトの定植から収穫までの期間、収益が全くない状況であったため（8～9月）やまとラクノープより枝豆の選別・梱包作業を行った。

・一般就労に向けて

定期的にはローワークや浜松技術専門校等の機関と連携を取ったり、合同面接会に参加したりすることで2名の利用者が雇用契約を結ぶことができた。

就職先	内 容	雇用開始	備 考
はぐくみ	中間処理場での分別作業	平成 26 年 4 月 21 日	（就労継続 A 型事業所）
宮木農園	農作業	平成 26 年 12 月 25 日	